

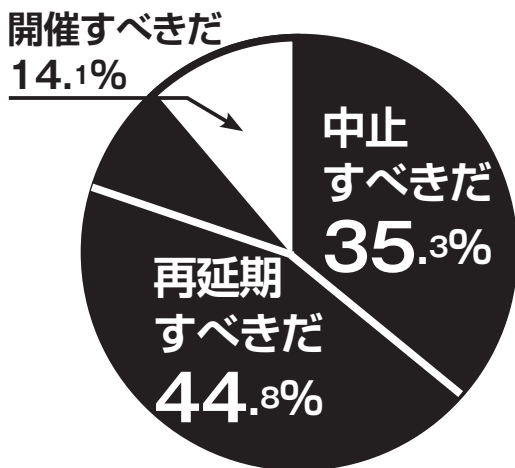
今夏の東京五輪は中止し コロナ収束に全力を

共産党・志位^{委員長}首相に迫る



日本共産党の志位和夫委員長は1月21日、衆院本会議の代表質問で、今夏の東京五輪開催について三つの重大問題をあげたうえで、今夏の東京五輪を中止し、「日本と世界のあらゆる力をコロナ収束に集中するべきだ」と主張しました。

五輪この夏開催 世論の8割は中止・再延期



共同通信世論調査(1月9,10日調査)より

「開催ありき」ではなく
ゼロベースから
開催是非の再検討を

その上で志位氏は「開催国の政府として、『五輪開催ありき』ではなく、ゼロベースから開催の是非を再検討し、東京都、組織委員会、IOC(国際オリンピック委員会)などとの協議を開始すべきだ」と求めました。

■ ワクチンが間に合わない

第一に、ワクチンの問題です。一部の国でワクチン接種が始まったものの、今年中の世界全体での集団免疫の達成は「ありえない」との世界保健機関(WHO)主任科学者の発言を引用し、「ワクチンを頼りに開催を展望することはできないのではないか」とただしました。

■ フェアな大会になるのか

第二に、「フェアな大会」の問題です。各国の感染状況の違いによる練習環境などの格差、ワクチン接種での先進国と途上国の格差を挙げ、「『アスリート・ファースト』の立場からも開催できる条件はないのではないか」と述べました。

■ 半年後に多数の医療従事者を 五輪に振り向けるのは非現実的

第三に、医療体制の問題です。大会期間中、熱中症対策で5千人の医療従事者が必要だとされるなか、コロナ対策も加わるとして「半年後に多数の医療従事者を五輪に振り向けるのは現実的ではないのではないか」と力を込めました。

コロナで、お困りの方は
日本共産党にご相談ください。



党都副委員長・医師 谷川智行 衆議院議員 笠井亮 前衆議院議員 池内さおり 衆議院議員 宮本徹 山形吉良子事務局長 坂井和歌子



ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2021年1月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

#比例は

日本共産党

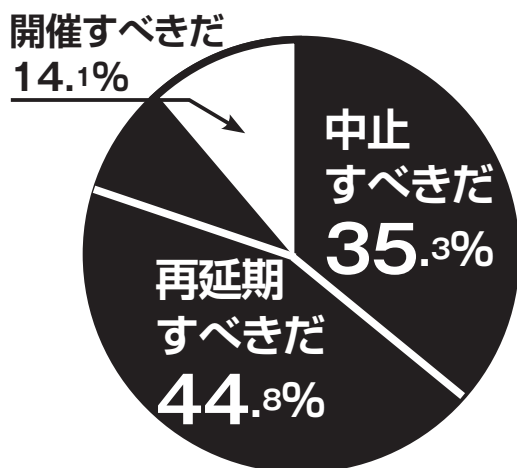
今夏の東京五輪は中止し コロナ収束に全力を

共産党・志位^{委員長}首相に迫る



日本共産党の志位和夫委員長は1月21日、衆院本会議の代表質問で、今夏の東京五輪開催について三つの重大問題をあげたうえで、今夏の東京五輪を中止し、「日本と世界のあらゆる力をコロナ収束に集中するべきだ」と主張しました。

五輪この夏開催 世論の8割は中止・再延期



共同通信世論調査(1月9,10日調査)より

「開催ありき」ではなく
ゼロベースから
開催是非の再検討を

その上で志位氏は「開催国の政府として、『五輪開催ありき』ではなく、ゼロベースから開催の是非を再検討し、東京都、組織委員会、IOC(国際オリンピック委員会)などとの協議を開始すべきだ」と求めました。

■ ワクチンが間に合わない

第一に、ワクチンの問題です。一部の国でワクチン接種が始まったものの、今年中の世界全体での集団免疫の達成は「ありえない」との世界保健機関(WHO)主任科学者の発言を引用し、「ワクチンを頼りに開催を展望することはできないのではないか」とただしました。

■ フェアな大会になるのか

第二に、「フェアな大会」の問題です。各国の感染状況の違いによる練習環境などの格差、ワクチン接種での先進国と途上国の格差を挙げ、「『アスリート・ファースト』の立場からも開催できる条件はないのではないか」と述べました。

■ 半年後に多数の医療従事者を 五輪に振り向けるのは非現実的

第三に、医療体制の問題です。大会期間中、熱中症対策で5千人の医療従事者が必要だとされるなか、コロナ対策も加わるとして「半年後に多数の医療従事者を五輪に振り向けるのは現実的ではないのではないか」と力を込めました。

コロナで、お困りの方は
日本共産党にご相談ください。

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2021年1月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党